

令和 7 年度(2025 年度)

教育委員会の事務の点検および評価報告書

(令和 6 年度(2024 年度)対象)

令和 7 年(2025 年)9月

九十九里町教育委員会

はじめに

1 点検・評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条に基づき、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することが義務づけられています。

九十九里町教育委員会では、その趣旨に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、毎年度、施策および事務事業に関する点検・評価を実施し、報告書を作成しています。

※ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象

点検・評価は、令和 6 年度（2024 年度）に実施した教育委員会の施策、事務事業全般を対象とし、また、教育委員会会議の開催状況や教育委員の活動状況など、教育委員会の活動そのものについても実施しました。

なお、評価の対象とする項目については、「第 5 次九十九里町総合計画」に掲げる施策を基本とし、その施策に関する事務事業を選定しました。

3 点検・評価の方法

点検・評価の視点

教育委員会の活動状況については、教育委員会会議の開催や教育委員の活動などの実績を検証し、今後の取組の方向を示しています。

また、各事業の個別評価では、次の4段階で評価をします。

評 価		
A	目標を達成できた、または目標達成に向けて順調に進んでいる	
	(評価基準)	・ 目標を達成した ・ 効果的で適切な取り組みを行っている ・ 目標達成に向けて成果をあげている
B	概ね目標を達成できた、または目標達成に向けて進んでいる	
	(評価基準)	・ 概ね目標を達成した ・ 効果的な取り組みを行っている ・ 目標達成に向けて一定の成果をあげている
C	取り組みを行っている、または目標達成に向けて多少の成果をあげている	
	(評価基準)	・ 取り組みを行っている ・ 目標達成に向けて多少の成果をあげている
D	目標の達成ができなかった、または目標の達成は困難である	
	(評価基準)	・ 取り組みが行われていない ・ 目標達成に向けた成果はあがっていない

4 点検・評価結果の公表

本報告書は、町民への説明責任を果たすため、議会へ提出するとともに、教育委員会のホームページに掲載し公表します。

教育委員会の活動状況に関する点検・評価

1 教育委員の選任状況

教育長および教育委員は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育、文化などに関して識見を有する者を、町長が議会の同意を得て任命しています。

令和6年度の教育長および教育委員は次のとおりです。

役職名	氏名	就任年月日	任期（就任期間）
教育長	鈴木 弘	令和6年4月1日	令和6年4月1日～ 令和7年9月30日
教育長職務代理者	阿部倉 毅	令和4年10月1日	令和4年10月1日～ 令和8年9月30日
委 員	川崎 修	平成25年10月1日	令和3年10月1日～ 令和7年9月30日
委 員	関 留理子	令和2年10月1日	令和2年10月1日～ 令和10年9月30日
委 員	齋正 美恵子	令和6年3月5日	令和6年3月5日～ 令和10年3月4日

2 教育委員活動状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日

日付	会議名等	会議場所等
4	4 町転入教職員合同着任式	町立中央公民館
	4 第1回定例教育委員会議	町立中央公民館
	9 九十九里中学校入学式	九十九里中学校
	10 町内小学校入学式	各小学校
	15 第1回管内教育委員会教育長会議	東上総教育事務所
	17 千葉県町村教育長協議会総会	ホテルポートプラザ千葉
	19 山武地区教育委員会連絡協議会 表彰者選考委員会	山武教育会館
	19 山武地区教育委員会連絡協議会理事会	山武教育会館
	24 千葉県教育委員会連絡協議会 第1回幹事会	流山市
5	1 第2回定例教育委員会議	町立中央公民館
	13 山武地区教育委員会連絡協議会総会	山武教育会館
	23 千葉県市町村教育委員会連絡協議会 定期総会	流山市
	25 片貝小学校・豊海小学校運動会	片貝小学校・豊海小学校
	27 第1回教科用図書山武採択地区協議会	大網白里市中央公民館
	31 関東甲信越静市町村教育委員会 連合会 総会・研修会	茨城県古河市
6	1 九十九里中学校体育祭	九十九里中学校
	3 第3回定例教育委員会議	町立中央公民館
	11 町教育研究会合同研修会	九十九里中学校
7	1 第4回定例教育委員会議	町立中央公民館
	3 千葉県教育委員会連絡協議会 第2回幹事会	流山市
	12 第2回教科用図書山武採択地区協議会	大網白里市中央公民館
	25 山武合同教育講演会	東金文化会館
8	1 第5回定例教育委員会議	町立中央公民館
	2 千葉県教育委員会三団体正副会長会議	流山市
	20 山武教育研究集会	各会場・オンライン

8	20	教育三団体「教育予算及び人事に関する要望書」提出	千葉県庁
9	2	第6回定例教育委員会議	町立中央公民館
	20	山武地区教育委員会連絡協議会 表彰者選考委員会	山武市役所
	20	山武地区教育委員会連絡協議会理事会	山武市役所
	20	山武地区教育長協議会会議	山武市役所
	28	九十九里小学校運動会	九十九里小学校
10	1	第7回定例教育委員会議	町立中央公民館
	11	管内教育委員会教育長会議	東上総教育事務所
	21	教育委員学校訪問・給食試食会	九十九里中学校 豊海小学校
	30	九十九里中学校合唱コンクール	東金文化会館
11	1	第8回定例教育委員会議	町立中央公民館
	1	山武地区教育委員会連絡協議会 教育功労者表彰式	町立中央公民館
	1	山武地区教育委員会連絡協議会研修会	山武教育会館
	6	第36回若い芽のジョイントコンサート	九十九里中学校
	7	山武教育研究会同一研修会	各会場
	25	教育委員会学校訪問・給食試食会	片貝小学校 九十九里小学校
12	2	第9回定例教育委員会議	町立中央公民館
	20	教育長・教育委員研修会	町立中央公民館
1	9	第10回定例教育委員会議	町立中央公民館
	12	成人式～はたちのつどい～	町立中央公民館
	24	教育長・教育委員研修会	スターツおおたかの森 ホール
2	3	第11回定例教育委員会議	町立中央公民館
	23	東金・九十九里波乗りハーフマラソン	東金アリーナ 片貝中央海岸
3	4	第12回定例教育委員会	町立中央公民館
	11	九十九里中学校卒業式	九十九里中学校
	18	町内小学校卒業式	各小学校
	24	山武地区教育長協議会総会	山武都市振興センター

3 教育委員会会議

(1) 会議の開催（令和6年4月～令和7年3月）

	定例会	臨時会	計
回数	12回	—	12回

(2) 審議内容

開催日	議案名	
4月定例会 (4月4日)	第1号	令和6年度準要保護児童生徒の認定について
	第2号	令和6年度九十九里町進学奨励費の認定について
	第3号	九十九里町教育大綱について
	第4号	令和6年度学校教育の方針について
	第5号	令和6年度社会教育の方針について
	第6号	九十九里町学校再編計画について
5月定例会 (5月1日)	第1号	九十九里町立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
	第2号	九十九里町学校職員服務規程の一部を改正する訓令について
	第3号	九十九里町学校建設庁内連絡調整会議設置要綱の一部を改正する告示について
	第4号	令和6年度教科用図書山武採択地区協議会規約及び協議会委員の承認について
6月定例会 (6月3日)	第1号	九十九里町教育要覧について
	第2号	準要保護児童生徒の認定について
7月定例会 (7月1日)	—	
8月定例会 (8月1日)	第1号	いわしの交流センター展示室の管理に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	第2号	令和7年度使用教科用図書の採択について
9月定例会 (9月2日)	第1号	九十九里町学校再編推進委員会設置要綱の一部を改正する告示について
	第2号	九十九里町学校給食費補助金交付要綱の一部を改正する告示について
	第3号	山武地区教育委員会連絡協議会表彰者の推薦について
10月定例会 (10月1日)	第1号	九十九里町立公民館管理規則の一部を改正する規則の制定について
	第2号	要保護児童生徒の認定について

11 月定例会 (11 月 1 日)	—	
12 月定例会 (12 月 2 日)	第 1 号	九十九里町第三子以降学校給食費減免実施要綱の一部を改正する告示の制定について
1 月定例会 (1 月 9 日)	第 1 号	学校施設整備の配置検討について
2 月定例会 (2 月 3 日)	第 1 号	九十九里町公民館使用許可基準について
3 月定例会 (3 月 4 日)	第 1 号	準要保護児童生徒の認定について
	第 2 号	九十九里町学校体育施設開放事業に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	第 3 号	九十九里町英語検定料補助金交付要綱の制定について
	第 4 号	九十九里町学校再編推進委員会設置要綱の一部を改正する告示の制定について

各事業の評価結果

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 「確かな学力」の向上

事業名	小中学生の基礎・基本の定着	担当係	学校教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	基礎的・基本的な知識及び技能の習得のため、主体的に学習に取り組む態度を養い、学力の定着を図ります。 【経過・結果】 「町学校教育指導の指針」を小中校長会議で周知・確認するとともに、その重点項目である「確かな学力の定着」に向け、朝の読書の奨励や「家庭学習の手引き」を配付し、どのように自学をすればよいかの目安を示したり、家庭学習重点週間を設け、家庭学習の習慣化を図ったりする等、各学校の実態に応じて取り組めるように指導しています。 加えて、各小学校に学習支援員を配置し、個に応じた指導の一層の充実を図りました。また全国学力学習状況調査や県標準学力調査の結果を分析し、各校において課題を把握し授業改善に努めるよう指導いたしました。 児童生徒にとってわかりやすい授業を行うために、タブレット端末やデジタル黒板の効果的な活用をするよう指導しています。 【今後の方向性】 児童生徒の学習理解が深まるよう、ICTの活用や指導方法の工夫などにより、確かな学力の向上および個別最適な学びを実現するとともに、引き続き家庭学習の習慣化に向けた取り組みを行ってまいります。		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	タブレット端末や電子黒板がバランスよく効果的に活用されるとともに、家庭学習などでも活用の機会が多くなってきていると感じる。学力の向上に結びつくことを期待する。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 「確かな学力」の向上

事業名	ICT 機器を活用した情報教育の充実	担当係	学校教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	ICT 機器の特性を生かし、視覚、聴覚からの情報を学習に活用するなど、児童生徒にとってわかりやすく、親しみやすい授業を展開します。 【経過・結果】 授業での児童生徒たちへのタブレット操作の支援や教職員研修の講師として ICT 支援員を配置し ICT 機器の活用スキルの向上を図りました。これにより、教職員は、授業においてデジタル黒板や書画カメラの活用が進み、教科書や資料など分かりやすく提示したり、児童生徒の考えを全体に共有したりする等、工夫することができました。児童生徒においては、タブレットを使い、文字を入力する、調べる、まとめる、写真や動画を撮る等、I C T 活用能力が向上するとともに、学習意欲も高まりました。 【今後の方向性】 校務支援システム導入に伴い、若手や転入教職員を重点的に教職員の I C T 機器研修会を開催し、技能の向上を図ります。また、GIGA スクール構想に基づきタブレットの更新など適正な管理に努め情報教育の充実を図ります。		
指標名	教職員 ICT 機器研修会の参加数		
実績値	29 回		
目標値	5 回		
自己評価	A		
評価結果	児童生徒や教職員の I C T 機器活用能力が向上してきていると感じる。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 「確かな学力」の向上

事業名	外国語活動の充実	担当係	学校教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	外国語指導助手（ALT）を小中学校へ配置し外国語教育の充実を図ります。また、小学校では、英語免許を有する英語専科教諭を配置し、英語学習の基礎を指導します。 【経過・結果】 小中学校の外国語教育において、児童生徒のコミュニケーション能力の育成、英語力の向上を目指し、ALT を町内の小中学校に配置しています。 英語科教諭とALT が連携して、児童生徒一人一人の学習状況に応じた授業を実施することで、児童生徒が自信をもって外国語を話す機会が増えています。中学校ではALT を活用し、実用英語技能検定や山武郡市英語発表会の指導を行いました。CEFR A1（英検3級程度）のレベルに6割以上の生徒が達しており、小学校からの英語教育の積み重ねが、学力の定着に繋がりました。 またデジタル教科書を使用し、映像や音楽を効果的に用いる授業ができ、児童生徒の理解を促すことに繋がりました。 【今後の方向性】 外国語指導助手（ALT）による英語指導は、英語力の向上、コミュニケーション能力の育成に大切な役割を担っていることから、今後も小中学校への配置を行い、英語力の確かな定着を目指します。また、中学生の英語検定受検料の一部を補助し英語力及び学習意欲の向上を図ります。		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	小学校からALTや英語科の先生の指導を受ける事が出来て、英語学習の始まりはとても良いと思う。英語でのコミュニケーション能力の向上を期待する。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 体験学習の推進

事業名	体験学習を重視した「生きる力」を育む総合的な学習の時間の推進	担当係	学校教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、また自然体験を通して観察・実験、見学や調査、発表や討論など、総合的な学習活動を推進します。 【経過・結果】 「学校教育の方針」の中の「ふるさとを愛する子の育成」に向け、ふるさと体験活動を推進しています。各校それぞれに、漁業を生かした「めざし作り体験」や「地引網体験」、海辺を生かした「蜃気楼体験」、田園を生かした「米作り・餅つき体験」等、地域の環境を生かした体験活動を行いました。これらの体験活動を通して、地域の産業に関心を持ち、地元への愛着が深まりました。 また、職場体験学習を実施し様々な産業に触れるとともに社会的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力の育成に努めました。 【今後の方向性】 地域の方への「生きる力」を育むため、多様な活動による体験学習は重要であります。見聞を広め、公衆道徳や集団生活のあり方などについて学ぶ有効な機会となることから、引き続き推進してまいります。		
指標名	体験学習の実施回数		
実績値	41 回		
目標値	各学年 1 回		
自己評価	A		
評価結果	地域の特性を生かした体験活動や、地域の方との交流など、とても有意義な体験である。継続的な推進を期待する。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 「豊かな心」の育成

事業名	「豊かな心」の育成を目指した道徳教育の推進	担当係	学校教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	児童生徒に豊かな人間性や社会性を育むため、道徳教育を行います。 【経過・結果】 「心の九十九里ルール」を周知し、規範意識の醸成や、学校・家庭・地域の連携が深まるように努めました。 自然体験学習やキャリア教育など、様々な校外学習の実践内容を学校と協議しながら進め、人・社会・自然との関わりについて学習をしました。また、ペットボトルキャップを集める「エコキャップ」活動、新聞・雑誌・ダンボール等を回収する「リサイクル」活動を勧め、持続可能な社会について考える機会を作りました。美しい九十九里浜の海岸清掃にも取り組みました。 【今後の方向性】 発達段階に応じた体験や道徳教育、また関係機関と連携した人権教育などを継続し、豊かな情操と道徳心を養う教育を引き続き推進します。		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	リサイクル活動や、清掃活動により児童生徒が、地域や環境についても考えられる良い活動が出来ていると評価する。道徳教育をはじめとした心の教育の充実を望む。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 特別支援教育の充実

事業名	就学指導と特別支援教育の充実	担当係	学校教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	児童生徒の成長や個性に合わせた適正な支援を推進します。 【経過・結果】 適切な就学指導に向け、医師や特別支援学校の教諭等で構成する教育支援委員会を2回開催し、就学指導の充実を図りました。特に新入学児童については、必要に応じて小学校の教諭がこども園等を訪問し連携強化を図りました。 また、東上総教育事務所に特別支援アドバイザーの派遣を依頼し、児童生徒の自立活動の指導を充実できるよう全校での支援体制の構築や、保護者との合意形成への指導、授業のユニバーサルデザイン化を推進しました。 また、すべての小中学校に支援員を配置し学校活動全般に寄り添えるような支援体制の整備をしました。 その他、特別支援教育就学奨励費を支給し特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に対し必要な援助を行い、経済的負担の軽減、就学の奨励を図りました。 【今後の方向性】 保護者、学校、児童生徒の相互理解のもと、児童生徒の状況に合わせた適正な支援を行います。また小学校入学に備え、他部署と連携しこども園への訪問相談の実施や、就学時健康診断についてはその結果を支援体制に活かすなど、充実した組織体制を構築します。		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	全ての学校に支援員が配置され、支援が必要な児童生徒への適切な援助がなされていると評価する。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 教育相談の充実

事業名	教育相談の充実	担当係	学校教育係
評価年度 (R6 年度) 取組内容	スクールカウンセラーや心の教育相談員の配置、訪問相談員による家庭訪問など、相談体制、支援体制を構築しています。 【経過・結果】 スクールカウンセラーの全校配置に加え、心の教育相談員を中学校に配置し、児童生徒、またその保護者に対する相談体制を構築しました。また、学期ごとに小中学校単位で長欠対策会議を開催し関係機関と連携を図る機会を作り、必要に応じてケース会議を開催するなど対応について協議しています。その他毎月、長欠だより「Assist-アシスト-」を発行し、長欠児童生徒の現状や課題の情報共有、対応等の情報発信を行いました。 なお、小中学校では、アンケートのほか教育相談週間を設け個々の面談を行いました。その他、相談箱の常設や、スクールカウンセラーの訪問日の周知に努めました。 【今後の方向性】 児童生徒が安心して登校できる環境作りのため、スクールカウンセラーや心の教育相談員の配置を継続します。また、スクールソーシャルワーカーの新規配置に伴い、児童生徒および家庭への相談・支援、教職員へ必要に応じて専門機関への接続を助言できるような体制を作るよう指導してまいります。		
指標名	アンケートの実施回数		
実績値	59 回		
目標値	3 回		
自己評価	B		
評価結果	タブレットを使い長欠の児童と先生が交流し、登校のきっかけ作りや、児童生徒の様子を確認するなど、教育相談体制が整ってきている。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 教職員に対する研修の充実

事業名	教職員の研修の充実	担当係	学校教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	教職員の資質向上、指導力の向上をめざし、教育研究活動や研修内容の充実を図ります。 【経過・結果】 授業改善や指導力の向上など、教職員が充実した教育研究に取り組めるよう、補助金を交付しその活動を支援いたしました。また、各学校の授業研究に指導主事を派遣し指導いたしました。 加えて、教職員のモラールアップや不祥事根絶について、校長会議の議題に毎回取り上げ、年間を通して協議しました。町の教育研究集会では東上総教育事務所管理指導主事より、不祥事根絶について講義いただき、町の教職員全体で、不祥事を起こさないという強い気持ちをもち、職務を遂行するよう意識を高めました。また、教職員としての資質・能力の向上に努めました。 【今後の方向性】 教職員の経験年数に応じた研修受講など積極的に推進し指導力向上を目指します。若年職員の資質向上については、県総合教育センターの出前授業を活用し、学級経営と学習指導について研修を行います。不祥事根絶研修については、さらなる教職員の資質向上、組織全体としての意識づくりに努めていきます。		
指標名	町教育研究会 研修回数		
実績値	2回		
目標値	2回		
自己評価	B		
評価結果	研修が目標通り行われ、一定の成果が出ていると思う。今後も教職員の教育研究活動や研修内容の充実を望む。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 学校施設の適正な維持

事業名	学校施設の適正な維持	担当係	学校教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	学校施設の補修修繕など老朽化対策と安全な環境作りのため適正な維持管理を実施します。 【経過・結果】 「九十九里町学校施設長寿命化計画」をもとに、学校の老朽化に対応するため、主に設備など必要な修繕を行うとともに、学校からの改善要望などを受け各種修繕工事を行いました。 (片貝小学校) ・校舎女子トイレ洋式化改修工事 他 (豊海小学校) ・受水槽給水ポンプモーター交換修繕 他 (九十九里小学校) ・消防設備修繕 他 (九十九里中学校) ・体育館卓球場照明器具交換修繕 他 【今後の方向性】 学校施設は、児童・生徒の学習や生活の場として重要な役割を担っていることから、引き続き計画的な維持管理を実施し、安全・安心な施設環境の整備を図ります。		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	学校の統廃合を見据えた上で、計画的に修繕を行っていただきたい。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 地域に開かれた学校づくり

事業名	地域とともにある学校を実現する	担当係	学校教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	学校評価アンケートや学校関係者評価委員会での意見等を参考にしながら、適正な学校運営がなされるように指導、助言していきます。 【経過・結果】 各小中学校に対し、学校評価アンケートの実施とその集計、結果の分析の的確な実施、及び学校関係者評価委員会での意見等を学校運営に反映するよう指導いたしました。 また、学校と地域が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「学校運営協議会」を豊海小学校で導入しており、地域と共にある学校づくりに向けた取り組みを前進させました。 【今後の方向性】 引き続き児童生徒、保護者、地域の方々の声に耳を傾け、学校運営や日常の教育実践等への反映に努めます。		
指標名	学校評価アンケートの実施回数		
実績値	各校 1 回		
目標値	各校 1 回		
自己評価	B		
評価結果	学校評価アンケートをもとに学校運営について考えられている。また、豊海小学校での学校運営協議会の充実が感じられる。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政策 子どもたちの生きる力を育む

施策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 教育環境の充実

事業名	学校のあり方についての検討	担当係	学校再編係
評価年度 (R6年度) 取組内容	「学校再編計画」に基づいた統合小学校及び中学校校舎建設を推進するため、建設予定地である九十九里中学校敷地の用地測量・境界査定を実施するとともに、設計業務に着手しました。 また、九十九里町学校再編推進委員会において、学校の配置及び学校再編に関する検討を行いました。 【経過・結果】 ＜教育委員会会議＞ 4月に開催した第1回教育委員会会議において「学校再編計画」を決議いただきました。 ＜用地測量・境界確定業務＞ 契約：令和6年5月1日～令和6年10月31日 境界立会日：令和6年9月27日 境界同意取得完了日：令和6年10月28日 学校に隣接する全ての土地の地権者に同意をいただき、学校用地の境界が確定いたしました。 ＜設計業務（調査等含む）＞（継続事業） 契約：令和6年7月31日～令和8年7月31日 事前調査：地質調査、天然ガス湧出量調査 各種調査の結果を踏まえ、適切な校舎配置箇所の検証を行うとともに、基本設計業務に着手いたしました。 ＜学校再編推進委員会＞ ・令和6年12月23日（第6回） 基本設計業務における学校校舎配置案を検討し、児童生徒にとって、より良い学校環境となる配置案を提言として作成しました。		

	また、学校再編に係る詳細を検討する団体として専門部会を設置するため、委員構成の検討を行うとともに、統合後の小学校名について決定手法の検討を行いました。 【今後の方向性】 基本設計業務を進め、決定した設計案を基に住民説明会を開催し、建設工事に対する住民周知を図るとともに、実施設計業務を進める。 専門部会を設置し、学校統合後の校章や校歌、学校行事などを検討していく。
指標名	学校再編推進委員会会議回数
実績値	1回
目標値	2回
自己評価	B
評価結果	学校再編に向け、円滑な業務進行を行っていただいたい。
評価	B

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 家庭教育の推進

事業名	家庭教育推進事業	担当係	社会教育係
評価年度 (R6 年度) 取組内容	家庭教育学級をはじめ、児童・保護者のニーズにあった家庭教育学事業を支援します。		
	町内こども園、小学校及び中学校において、家庭や地域の教育力の向上を図ることを目的として開催する家庭教育学級への支援を実施します。		
	【経過・結果】		
	子どもと保護者が共に学ぶ機会を提供するため、こども園及び小学校にて家庭教育学級を開催しました。		
	但し、町開催の全体会は中止となりました。		
	家庭教育の向上のため、各家庭に対し情報提供を実施するとともに、各種研修等への参加を呼びかけました。		
	《実績》		
	全体会	中止	
	とようみこども園	4回	
	かたかいこども園	5回	
豊海小学校	3回		
片貝小学校	4回		
九十九里小学校	4回		
九十九里中学校	4回		
参加者 延べ保護者	861 人		
園児・児童	1,298 人	合計	2,159 人
内容 音楽鑑賞・親子運動・交通安全教室 講演会 ほか			
	【今後の方向性】		
	より良い家庭環境を築き、子どもの健やかな成長を支援するため、各園、学校、地域に協力いただき、親子で参加する様々な取組や講座などの学習機会の提供に努めます。		
指標名	家庭教育学級開催数		
実績値	24 回		

目標値	30 回
自己評価	B
評価結果	保護者が参加しやすい内容や方法を工夫し、充実した活動になることを願う。
評価	B

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 青少年の健全育成

事業名	子ども会活動の充実	担当係	社会教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	各団体と連携協力し、活動の充実を図るとともに、地域の子どもの縦と横のつながりを深めます。		
	育成者へ講習会や研修会への積極的な参加を促し、指導者としての資質向上を図ります。		
	【経過・結果】		
	子ども会活動の活性化を図るための事業を開催しました。		
	例年、中学生以上のジュニアリーダーとの連携を強化しており、地域の子どものつながりの強化のため、指導者育成研修への参加を支援いたしました。		
	《実績》		
	お寺で遊ぼう（虫おくり）	11名	
	見学ツアー（千葉工業大学）	12名	
	子どもかるた大会	5名	
	ボッチャ大会	中止	
	【今後の方向性】		
	町内における子どもの数が激減しており、活動を維持できない単位子ども会が急増しています。		
	新たな団体の成立は困難な状況です。地域全体で活動意欲を活性化できるような取組や子ども会の体制の見直し等について継続的に協議していきます。		
	また、休止・解散した単位子ども会に所属していた児童についても引き続き参加できるよう連絡体制の強化を図ります。		
	指標名	子ども会数の減少抑止	
	実績値	12 団体	
	目標値	15 団体	
	自己評価	C	
	評価結果	子どもや保護者の数が減少する中、実施の在り方を考えていく必要がある。	
	評価	C	

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 青少年の健全育成

事業名	青少年活動の充実	担当係	社会教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	青少年相談員連絡協議会交付金。 活動：夜間パトロール、カーブミラー清掃、 相談員ツアー 【経過・結果】 青少年の健全な育成のため、見回り活動や体験活動を通じ、青少年を地域全体で見守る活動を推進します。 ・夜間パトロール 7名 ・有害図書調査 7名 ・カーブミラー清掃 延べ14名：203箇所 1回目：片貝・九十九里地区、2回目：豊海地区 ・青少年相談員ツアー 中止 【今後の方向性】 青少年の健全な心身の育成のため、活動を実施するとともに見守り体制を強化します。 また、効果的な事業の企画・立案をし、地域での活動の活性化を図るため、関係者との協議を推進します。		
指標名	青少年相談員活動の実施回数		
実績値	4回		
目標値	5回		
自己評価	B		
評価結果	青少年相談員の方々の見回り活動等を評価する。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 青少年の健全育成

事業名	ジュニアリーダースクラブ 活動の充実	担当係	社会教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	各種行事の企画運営や研修会へ参加し、自己能力の向上を図るとともに人材の発掘を図ります。 資格取得を促し、九十九里町だけでなく千葉県で活躍するリーダーの育成に努めます。 【経過・結果】 地域の児童生徒のリーダー育成のため、各種行事の企画運営や研修会への参加を行っているとともに、町子ども会行事の準備等についても協力を行っています。 各種活動を行う中で、ジュニアリーダースクラブを周知してきた結果、3名の新規加入がありました。 中学生：3名、高校生：19名 うち新規加入者数 3名 初級研修 1回開催（参加数：4名） 中級研修 1回開催（参加数：0名） 上級研修 2回開催（参加数：1名） 【今後の方向性】 各種事業の開催や研修会への参加を通して、ジュニアリーダーとしての自己能力の向上を図り、活動の充実を図ります。 また、活動報告やパンフレットの作成を継続的に実施すると共に、様々な手法により活動をPRし、新規加入の推進を図ります。		
指標名	ジュニアリーダースクラブ活動参加者の増加		
実績値	3名		
目標値	5名		
自己評価	B		
評価結果	こどもの減少により加入者を増やすことが難しくなっている中で、新規加入者がいることは評価する。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 青少年の健全育成

事業名	通学合宿の実施	担当係	社会教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	九十九里町通学合宿の開催。 【経過・結果】 異なる学校・世代の児童が共同生活をする中での体験活動を通して、自主性・社会性や協調性等を身に着けることを目的に実施しました。 対象 町内小学校4～6年生 期間 2泊3日 参加 35名 【今後の方向性】 子どもたちの自主性・社会性や協調性を養うことと、地域全体で子どもを育てる意識の高揚を図るため、引き続き実施します。		
指標名	自主性・社会性・協調性の向上		
実績値	100%		
目標値	100%		
自己評価	A		
評価結果	大変良い取り組みで成果は十分出ている。継続を願う。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 生涯学習の充実

主な取組 生涯学習の推進

事業名	生涯学習推進体制の充実	担当係	社会教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	生涯学習推進協議会の組織・運営。 生涯学習推進大会の開催。 【経過・結果】 町民の学習機会の充実を推進するため、生涯学習推進大会を開催しました。 ・生涯学習推進協議会 2回開催 ・生涯学習推進大会 生涯学習実践発表 3団体 講演会 【今後の方向性】 学習機会の充実化のため、生涯学習推進大会を開催し学習意欲の醸造を図るとともに、団体による活動発表の場を提供し、地域団体活動の活性化を図ります。		
指標名	事例発表団体数		
実績値	3団体		
目標値	4団体		
自己評価	B		
評価結果	生涯学習大会を開催し、活動団体の学習意欲、機会を提供することができ、成果が出ていると評価する。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 地域文化の継承と創造

主な取組 郷土芸能の保存・継承

事業名	郷土芸能の保存・継承	担当係	社会教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	3年に一度、郷土芸能まつりの開催。各地区の郷土芸能団体と協力し郷土芸能の保存・継承を図ります。 【経過・結果】 郷土芸能まつりの開催がない年であったが、各地区の郷土芸能団体協力のもと、各種祭典での芸能披露や小学校ではお囃子体験学習を実施するなど、郷土芸能への理解と認識を深めると共に、保存・継承活動の推進と地域文化の活性化に努めました。 【今後の方向性】 本町内に伝承されている民族芸能は、日々練習を行うなか、各地区の例祭等、限られた場所で演じられています。各組織においては、指導者・後継者不足が大きな問題となっていることから、今後の伝承活動に取り組む必要があります。 このことから、地域の郷土芸能の保存・継承及び活性化を図れるため、3年に一度の郷土芸能まつりを継続していきます。 また、祭典での披露や学校での交流を続け伝承活動に取り組めます。		
指標名	活動団体数		
実績値	9団体		
目標値	9団体		
自己評価	A		
評価結果	まつりだけでなく学校での交流など成果が出ている。地域の文化の保存、継承のためにも継続されることを願う。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 地域文化の継承と創造

主な取組 文化財の保存・活用

事業名	文化財の保存・活用	担当係	社会教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	伊能忠敬記念公園・文化財関係維持管理。 【経過・結果】 伊能忠敬記念公園については、地元自治区の協力と職員による週1回の清掃作業を行っており適正な管理体制が構築されています。 また、より適切に利用できるよう施設の修繕を計画しました。 【今後の方向性】 文化財維持管理と地域住民の憩いの場として活用していくため、引き続き地元自治区と協力し、伊能忠敬記念公園の適正な管理に努めます。		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	A		
評価結果	地元自治区と協力し適切な管理ができている。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 スポーツ活動の推進

事業名	学校体育施設の開放	担当係	社会教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	町内3小1中の学校体育施設を開放し、地域住民が運動に親しむ環境を提供します。 活動団体の利便性の向上を図り、登録団体数の確保に努めます。 【経過・結果】 運動に親しむことのできる環境を作るため、学校体育施設の開放を行いました。団体数は2団体少なくなりましたが活動の推進が図れています。 また、利用団体の利便性の向上を図るため、規則を改正し使用時間の拡充を図りました。 【今後の方向性】 町民の健康保持のため、施設利用促進を図ります。		
指標名	学校体育施設登録団体数		
実績値	38 団体		
目標値	41 団体		
自己評価	B		
評価結果	目標値には届いていないが、施設の利用はできている。利用団体の利便性が向上することは良いことだと思う。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 スポーツ活動の推進

事業名	団体及び指導者の育成・強化	担当係	社会教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	スポーツ教室の開催。 【経過・結果】 各種スポーツへ講師を迎えスポーツ教室を開催し、競技人口の増加及び指導者の育成を図り、総合的な各種スポーツの活性化を図ることを目的に実施しました。 種 目 陸上 参加者 34名 【今後の方向性】 各種スポーツの活性化を図るため、年1回のスポーツ教室を開催します。		
指標名	スポーツ教室開催回数		
実績値	1回		
目標値	1回		
自己評価	A		
評価結果	各種スポーツの活性化を目指し、人気のあるスポーツの種目などの実施も検討し、今後も開催の継続を願う。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 スポーツ活動の推進

事業名	社会体育活動事業の実施	担当係	社会教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	山武郡市民体育大会、スポーツ・レクリエーション祭、山武郡市民駅伝競走大会等各種スポーツ大会の開催。 【経過・結果】 レクリエーションやスポーツ大会を行うことにより、子どもから大人まで広く町民の皆様が運動に親しむ機会を設けています。中止となった大会もありますが、概ね計画のとおり各種スポーツ大会を開催することができました。 山武郡市民体育大会 総合5位 254名 優勝：野球 2位：バレーボール（男子）、バスケットボール（女子） 3位：ソフトボール（男子）、 町スポーツ・レクリエーション祭 ボッチャ 14名、モルック 20名 グラウンドゴルフ 32名 山武郡市民駅伝競走大会 総合5位 15名 その他各種成人大会 【成人大会企画 専門部・協会】 （開催）野球大会（秋）4チーム 52名 ゴルフ（春）54名、ゴルフ（秋）48名 バレーボール（春）5チーム 55名 バレーボール（秋）4チーム 44名 （中止）野球（春）、ソフトボール、バスケットボール スポーツフェスティバル		

	【今後の方向性】 町民の健康保持のため、スポーツ・レクリエーション活動の振興や普及に努めるとともに、実践の場として各種スポーツ大会等を開催します。 各成人大会が自主運営できるよう専門部・協会を支援します。
指標名	社会体育事業参加者数
実績値	588 名
目標値	1,350 名
自己評価	B
評価結果	参加者数が目標に届いていないが、人口減少のため仕方ないと思う。今後もスポーツの振興に努めてほしい。
評価	B

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 スポーツ活動の推進

事業名	スポーツ協会加盟団体の活動支援	担当係	社会教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	九十九里町スポーツ協会補助金。 【経過・結果】 町におけるスポーツ活動の中心である、スポーツ協会へ補助金を交付し、各種スポーツ団体主催による大会や研修、講習会開催時及び山武郡市民スポーツ大会の支援を行いました。 【今後の方向性】 各種スポーツ団体の育成・強化に努め、各種大会の自主運営、指導者の育成、資質向上を図ります。		
指標名	スポーツ協会加盟団体数		
実績値	17 団体		
目標値	19 団体		
自己評価	B		
評価結果	一定の成果は出ていると評価する。今後もスポーツ人口の増加に繋げて欲しい。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 スポーツ施設の維持・改修

事業名	野球場の利用促進	担当係	社会教育係
評価年度 (R6年度) 取組内容	スポーツ活動の場として有効活用できるように、施設の定期的なメンテナンスと併せて、設備の管理を適切に行います。 芝生土壌処理剤散布。 スポーツトラクターの整備。 【経過・結果】 管理用スポーツトラクターを整備し定期的に芝刈りを実施した。芝の手入れを行うことで、利用者のプレー環境や安全性に配慮したグラウンドを保つことができた。 なお、実績値は昨年度と比較し向上しております。 【今後の方向性】 施設を適正且つ安全に利用できるよう、定期の維持補修を実施していきます。		
指標名	野球場年間累計利用団体数		
実績値	124 団体		
目標値	170 団体		
自己評価	A		
評価	野球場の適切な維持管理ができています。		
評価結果	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 海辺のスポーツ環境づくり

事業名	海岸スポーツ推進	担当係	社会教育係
評価年度 (R6 年度) 取組内容	サーフィンスクールの開催。 【経過・結果】 海岸における活動推進と、子ども達が自然に触れあいながら学ぶ場を提供するため、日本サーフィン連盟の協力のもと、サーフィンスクールを開催しました。 また、協会との協議を実施し、ビーチクリーン作業などを取り入れ、海岸の景観改善、海洋生態系保全やゴミ問題の意識向上に努めました。 第1回（片貝中央海岸）：8名 第2回（片貝中央海岸）：6名 【今後の方向性】 参加者の健康・安全に留意しつつ、今後も企画・開催していきます。 また、日本サーフィン連盟と協力体制を拡充し、海岸における活動推進を図ります。		
指標名	海岸を活用したスポーツ事業の実施		
実績値	2回		
目標値	2回		
自己評価	A		
評価	九十九里の自然を生かした活動の評価する。今後も参加者の安全に気をつけながら継続を願う。		
評価結果	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 生涯学習の充実

主な取組 生涯学習の推進

事業名	生涯学習推進事業	担当係	中央公民館
評価年度 (R6年度) 取組内容	地域の実情や課題に応じた各種講座を開催し、より多くの町民が参加でき、余暇の活動や生涯学習の推進のため幅広い学習機会の場を提供する。また、講座終了後は、自主的に継続して活動できるように運営支援に努め同好会への移行を図ります。		
	生涯学習を目的とした各種講座を企画開催し、広報やHPにより広く住民に周知する。住民の余暇の活用及び生涯学習の推進による学びやふれあいの場を提供します。		
	【経過・結果】 (公民館活動)		
	生涯学習推進の場として、公民館を開放し学習機会を提供しました。		
	・町主催講座受講者数		
	健康ヨガ教室 (10回開催) 受講者30人		
	津軽三味線民謡教室 (10回開催) 受講者12人		
	リズム体操教室 (10回開催) 受講者19人		
	太巻き寿司教室 (10回開催) 受講者18人		
	※町主催講座から自主同好会へ移行。 (太巻き寿司教室)		
・公民館利用状況			
各教室・同好会 654回 6,685人			
学校・行政関係 387回 4,972人			
その他 84回 1,512人			
合計 1,125回 13,169人			
(図書室)			
・開室日数 282日、入室者数 3,986人			

	貸出者数2,693人、蔵書冊数22,119冊、貸出冊数5,979冊、1日平均貸出し冊数21冊 【今後の方向性】 昨今は、人口減少の影響から、受講者数は年々減少傾向にありますが、町民のニーズに合わせた魅力ある講座を主催し、受講しやすい環境の整備と情報発信に努めます。 また、継続的な学習機会を提供するため、町主催講座修了後においても、自主的な活動ができるように運営支援に努め、同好会への移行を推進します。
指標名	講座受講者の参加人数
現状値	79人
目標値	100人
自己評価	B
評価結果	これからも町民のニーズに合わせた講座が開催できるよう希望する。また、広く活動の周知を図り、受講者や利用者が増えていくことを願う。
評価	B

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 生涯学習の充実

主な取組 生涯学習の推進

事業名	生涯学習推進事業	担当係	中央公民館
評価年度 (R6年度) 取組内容	文化団体連絡協議会（参加団体）への支援 【経過・結果】 各団体の活動内容の周知や会員募集のため、会報を作成し、全世帯に配布しています。 （文化団体連絡協議会参加団体数） 23団体 【今後の方向性】 既存団体の高齢化により、維持が困難な個々の団体が増えています。 このことから、主催講座から、同好会等に移行した団体へ、新規加入の促進を図ると共に、広報やHPを活用し、町民への加入を呼びかけ、加入団体数の充実を図ります。		
指標名	文化活動団体への支援		
現状値	23団体		
目標値	30団体		
自己評価	B		
評価結果	目標値には届いていないが、活動内容の周知について一定の成果があったと思う。様々な手段を通じ加入者が増えることを願う。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 生涯学習の充実

主な取組 生涯学習環境の整備

事業名	生涯学習施設整備事業	担当係	中央公民館
評価年度 (R6年度) 取組内容	施設に不具合があった際に保全を行う「事後保全」型の管理から、計画的に施設の点検・修繕等を行い、不具合を未然に防止する「予防保全」型の管理へと転換を目指します。また、劣化・損傷が軽微な早期段階で把握し修繕を行うことで、劣化・損傷の進行を事前に防止し、修繕にかかる費用を縮減します。 【経過・結果】 主な修繕箇所 エレベーター非常電源用バッテリー交換、火災受信機バッテリー交換、高圧変電設備トランス油・V C B交換等 主な工事箇所 照明改修工事（L E D化）、舞台吊物機構等改修工事 【今後の方向性】 施設の点検や専門業者の点検等を基に、施設の老朽化に伴う修繕計画を策定し、利用者の安全を最優先事項として利便性の向上に努めるほか、将来的な維持管理経費の縮減が図れるよう計画的な施設の保全に努めます。		
指標名	-		
現状値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	日常点検を確実に実施し、予防保全をこれからも計画的に続けてほしい。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 地域文化の継承と創造

主な取組 芸術文化活動の推進

事業名	芸術文化活動推進事業	担当係	中央公民館
評価年度 (R6年度) 取組内容	公民館等で実施をされている各種講座・同好会が連携を図り、文化祭等各種事業実施の際の円滑化を図るため、文化団体連絡協議会を町民文化事業の推進母体として活用し、一般参加者も含め、文化、学習事業の推進を図り、活動の成果を発表する機会を創ります。 【経過・結果】 参加団体数 21 団体 町民文化祭 芸能発表（11/4）、作品展示発表（11/1～11/3まで）を行いました。コロナ禍での中止を経て2回目の文化祭を盛大に開催することができました。 【今後の方向性】 ・今後も文化祭を開催し、学習の成果を発表する場を提供する。（作品展示発表及び芸能発表）		
指標名	町民文化祭参加団体数		
現状値	開催（21 団体）		
目標値	30 団体		
自己評価	B		
評価結果	成果を発表する場があると活動にも張り合いが出るので、文化祭の継続開催を希望する。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 教育環境の充実

事業名	学校給食事業のあり方の検討	担当係	学校給食係
評価年度 (R6年度) 取組内容	学校給食センター運営委員会を軸として、意見交換を行い、給食事業及び施設の方向性を検討します。 【経過・結果】 学校給食に対する理解を深めるとともに、子どもの「食育」を推進するため、教育委員による試食会を行いました。 また、学校給食センターの運営を適正かつ円滑にするため、運営委員会を2回開催しました。給食事業特別会計の予算・決算など慎重審議を行い、給食事業の安定に向け取り組みを進めました。 【今後の方向性】 児童、生徒にとってより良い給食事業及び施設のあり方を、学校給食センター運営委員会を軸として進めてまいります。		
指標名	学校給食センター運営委員会会議回数		
実績値	2回		
目標値	2回		
自己評価	A		
評価結果	今後もより良い給食事業を願う。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 教育環境の充実

事業名	安全・安心な学校給食の提供	担当係	学校給食係
評価年度 (R6年度) 取組内容	安全安心な学校給食を提供します。 日常点検・定期点検による機器の故障等の事故防止と迅速な修繕を行うとともに計画的な調理機器等の入替えを行います。 【経過・結果】 給食調理・配送の委託業者、栄養士、町職員との連携を密にするとともに、提供する食材の管理や調理員の体調、調理過程、機器、配送に至るまで、毎日の記録と点検を実施し安全な給食の提供に努めました。 また、調理機器等の修繕及び、衛生管理上不適合、不具合な設備等の修繕を実施しました。 ・配食日数 年間193日 ・配食数 日平均737食 ・主な修繕 排水処理施設ブロー交換、食器・食缶兼用洗浄機修繕、移動台キャスター交換等 【今後の方向性】 給食の安全を確保するため、食材の品質や衛生管理体制の徹底を図り、学校給食センター施設および調理機器等の日常点検や保守点検により判明した不具合や耐用年数を超える調理機器等の修繕を計画的に行い、児童生徒に安全安心な給食の提供に努めます。		
指標名	事故による給食停止日数		
実績値	0日		
目標値	0日		
自己評価	B		
評価結果	事故なく安全で美味しい給食を提供されていることを評価する。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 教育環境の充実

事業名	学校給食費補助事業 (学校給食費無償化)	担当係	学校給食係
評価年度 (R6年度) 取組内容	保護者の経済的負担を軽減し教育環境の充実や子育て支援のため学校給食費補助事業に取り組みます。 【経過・結果】 令和5年1月から第三子以降の義務教育期間における町立小・中学校の児童・生徒の学校給食費無償化を実施、また、令和6年1月から町内在住の公立小中学校及び特別支援学校等に在籍する児童・生徒の学校給食費を完全無償化しました。 ＜第三子以降学校給食費減免＞ ・該当者 93名(84世帯) ・減免額 4,707,950円 ＜学校給食費完全無償化＞ ・該当者 544名(小学生327名・中学生217名) ・補助金額 28,815,268円 【今後の方向性】 学校給食費の完全無償化について引き続き取り組み、教育環境の充実を図ってまいります。		
指標名	—		
実績値	—		
目標値	—		
自己評価	A		
評価結果	学校給食費の完全無償化は大いに評価できる。引き続き実施されるよう願う。		
評価	A		